

議

長 休憩を解いて再開いたします。

(13時00分)

これより質疑に入ります。本日の質疑につきましては、町長の政策と予算との関係、款項を中心とした質問など、比較的大きな質問とさせていただきます。質疑のある方は挙手をお願いします。

4 番 平

野 所信表明のほうにも上がっている県西地域活性化プロジェクト推進事業に関してです。これは予算大綱のほうでもしっかりと明記されていることなんですけれども。先ほどの説明の中で、たしか今年度が最終というふうに向ったような記憶がありますけれども、こちら予算大綱のこちらの説明を読みますと、松田町を含む県西地域2市8町と神奈川県で連携して未病改善を主なテーマに、地域活性化を推進する事業、本町では交通の要衝である特色を生かし、県西地域のネットワーク化に向けた駅周辺の案内、アクセス機能の強化や東京オリンピック・パラリンピック2020を見据えたインバウンド環境を構築する国際交流事業を展開というふうな説明になっております。

これ、今回が最終年度ということなので、この最終年度にどんな形に仕上げていくのか、どんな具体的な効果が最終的には出てくるのか。そのあたりと、それからあとはちょっと運営の仕方、この2市8町でやっているという、このやり方で、一体どこがリードをしたり、何というか、あるいはチェックをしたりとか、何かそういうことをやっているのは一体どうなっているのかということをお聞きしたいと思います。そして、最終年度なので、最終的にこんなふうになるよというのがあるんでしょうけれども、これまでの具体的な成果、その辺を聞きたいと思いますので、よろしくお願いします。

政策推進課長

それでは、御質問に回答させていただきます。ページでいきますと予算書の55ページになります。この事業につきましては、5年計画ということで、地方創生推進事業ということで、神奈川県、2市8町も含めた中で、5町の協力のもとにですね、事業を推進しております。主な事業としましては、国際交流推進事業といいまして、町の観光協会を初めですね、さまざまな交流を目的として広域で取り組んでいるものでございます。特に特産品の開発事業や、近隣の観光地等への誘導等を踏まえて取り組んでいく事業でございます。

松田町につきましては、各市町村個別の事業を推進している中でですね、松

田町は駅周辺を拠点にし、開成町で言うと瀬戸屋敷や、あと大井町の未病改善のエリア等を踏まえた誘導施策として、多くの観光・交流事業を進めていこうという観点で進めているものでございます。特にですね、駅周辺広域案内業務につきましても、国が推奨している小型のモビリティの環境性能にすぐれたEV車両などを使って、広域案内をさせていこうということで取り組んでおります。また、その中の一環としまして、国際交流事業として多くの外国人の方を町に来ていただいて、町を知っていただいて、グローバル化に取り組んでいこうという観点で進めているものでございます。

どこが主体かということではないんですけれども、松田町においてはそういう事業を積極的に行い、各市町村それぞれの目的のもとにやっております。ただ、連携するところはみんなでやっっていこうということなので、この地方創生事業の交付金を活用して、神奈川県を巻き込んでやっているとこのところでございます。

足柄のローカルブランディングという事業がございまして、そこにつきましては、今、事務局のほうは大井町さんが主体にやっただいて、今、特産品の中に酒粕などを使った事業展開を進めて取り組んでいるところでございます。目的としましては、やっぱり2市8町で多くの方に来ていただく取り組みの一つとして、今後の交流人口をふやし、町のよさを知ってもらおうと、魅力づくりの取り組みとして最終的に取り組んでいるところでございます。今年度末ということがございますが、最終的には継続して事業ができるような取り組みにしていこうということで、各市町村、今、進んでいこうということであるところでございます。以上です。

4 番 平 野 ありがとうございます。毎年似たような感じのことを聞いているんですが、一体何がそれに当たるのかがすごくいつもわかりにくい事業だなと思いつつ聞いている。そして、あと、今お話を聞いた限りでは、個別に進めているような感じのお答えでした。連携はとっている。足柄ローカルブランディングに関しては大井が事務局になっているという、そこはわかったんですが、2市8町というからには、小田原も含めたエリアだと思うんですけれども、何かこういう補助金が入ってきてそういうのをみんなで使っていくんだろうけれども、何かとても大きな話だなと思うんだけど、それを何も、例えばどこかで話し合

うとか、そういうのではないですか。

政策推進課長 この事業につきましては、広域で今、いろんな事業を進めている中ではですね、担当課長の会議とか、そういうところでは話をしている状況にあります。ただ、この一つ一つの事業の事務局というのが、なかなか今、難しいところがございます。足柄ローカルブランディングの関係だけにつきましては、主体的に大井町さんが今事務局を持ってございます。今後ですね、この事務局がどうしていこうというような話も今、進めている、今年度進めていこうと。最終的にどういうふうに目的を持って進めていくのかというのを最終年度に調整させていただくということで、そこが議論になってくると思います。以上です。

4 番 平 野 すごく皆さんも悩みながら、模索しながら多分進んでいられるんだろうなというのはわかるんですね。すごく何ていうか、ちょっと連想してしまったのが、足柄アートというのが1回ありまして、県からの補助金でしょうね、あれもね。それを受けて、あのときは1市5町だったと記憶しているんですけども、このエリアでアートイベントなどを育てていこうという、あれは3年だか4年だかの補助金の措置だったんじゃないかなと思うんですが、そのときもいろんなボランティア団体が立ち上がり、私も最初の会議に出たりしたんですけども、わけがわからないまま始まっていき、そしてその補助金がなくなった段階で、ほとんどの団体が収束してしまっただと。唯一、今残って活動しているのが元北足柄中学のアートの森というイベントなんですけど、そこだけでもね、育て、ちゃんと残って育て、今とても大きくなっているから、県の補助金が全く無駄になったとは思わないんですが。多分、何かすごく過程とかを聞いてて、すごくそれを思い出してしまうんですね。何かそういう、お金があるうちは何年か右往左往しながらでも動くんだけど、結局終わった後、何が残るんだという、すごくそういう徒労だけ残るみたいになっちゃうと、もったいないなという感じがするんです。県のお金がほとんどだけでも、持ち出し分もあるはずで、その辺のところをもう少し、いま一度広域できちんと、何を目指しているんだろうとか、あるいはボランティア団体を育てるんだしたら、もうちょっとそっちのほうの、そっちにお金をもっと入れないと育たないし、そういうところから本当は話すべきで、最終年度なので、今から話してもというところはあ

りますが、今、先ほどおっしゃった中では、継続していけばなという何か希望的観測が出たので、あえて言いますけれども、もしこれからもそういう継続で補助が出てくるんだったら、本当に補助金が出なくなる前に、何かそういう人を育てていきながら、みんなでやっていく。やっぱり足柄地域、小田原も含めて観光は本当に1町だけでは成り立たないと思うので、その辺のところをぜひ機能的に使っていただくさればなと思います。要望です。

町 長 補足しておきます。神奈川県は、この県西地域をですね、なかなか特区という形にしてなくてですね、未病の戦略エリアということで、この地域を指定をしながらですね、県の施策を進めているという状況です。そういった中でですね、未病は食と運動と社会参加という、その3つが1つの融合体になってやっていきましょうということを号令に、今まである、各いろんな場所場所を未病の〇〇エリア、〇〇域何とかというふうに決めてきているところもあります。そういったことが一つの共通認識の中で、各町が一つずつそれにのっかった中で、自分たちがやっていることのさらにブラッシュアップをひとつやっていきましょうというようなことでやっている事業なんですね。最後は先ほど言われたように、それをどうやって点を線で結ぶかということについては、県西活性化プロジェクトの会議があったりとかするときに、我々も出て行くんですけども、そういったところではそういう発言をさせていただいているところです。これから県のほうも力を入れながら、ちょっと携帯用の何かをつくって、アプリをつくって、ずっと来た人が何人来たとか、どういった人たちが来たとか、そういった今度エビデンスをとっていかないと、なかなかデータがとれなくてよろしくないというような話もさせていただいたりしてますから、今後そういったことで全体的でこの辺で観光といいましようかね、人が来て、どれだけ経済的な効果があるかというふうに、「未病」というキーワードをもとにやっていく事業かなというふうに期待をしておりますので、そこに松田町も当然乗りおくれることなく、本町がやりたいものに対して、2分の1かな、その負担と、あとは裏打ちも若干ある事業なので、うちは国際交流ということを含めながら今やらせていただいているということになります。以上です。

議 長 ほかに。

6 番 井 上 2点ございます。1点目はですね、ページ53ページ、定住少子化対策支援事業ということで、参考資料のほうから見ますと、さまざまな住宅支援促進奨励金、松田同窓会助成費用、雇用奨励金、住宅家賃補助、結婚生活支援補助金等がございます。これらですね、前年までの、この中にちょっと新規もあるかもしれないんですけども、前年までの実績及び令和2年度当初予算における積算の見込み件数をですね、お知らせいただきたいと思います。

2点目としましては、予算書の131ページ、新松田駅周辺整備推進事業がございます。その中で、これは一般質問等でも触れさせていただきましたけれども、新松田駅周辺の整備事業の準備の年度であるということでの説明をいただいておりますが、その中でもですね、実際に具体的な事業としてですね、新松田駅の南北自由通路設計委託料がございます。1,400万円。これをですね、こういった内容なのか。もうこれがですね、新松田駅周辺整備の第一歩なのか。どういう内容でですね、こういった設計委託料を予算化されるのか、実施をされるのかの2点をお伺いをしたいと思います。

定住少子化担当課長 それでは、1点目の御質問になります定住少子化対策支援事業の中の補助金、負担金補助及び交付金の部分になりますが、まず実績というところになります。1つ目のですね、住宅取得促進奨励金につきましては、昨年度、どのくらい…（私語あり）前年度ですね、30年度の実績としては28件ございました。280万、1件10万ということで280万の実績でございます。令和2年度の見込みとしては30件の見込みをしてございます。

また、次の2世帯同居等支援奨励金につきましては、30年度実績としては16件、内訳としましては同居と近居とございます。同居は4件、近居が12件ということで、合計で360万ほどの支出がございました。今年度の見込みとしましては、同居4件、近居9件ということで、13件の見込みでございます。

次に、ふるさと松田同窓会助成費用でございます。昨年度実績でございますが、14件でございます。参加者としては532名の参加があられたということでございます。今年度につきましても、1件5万円ですので、12件で60万円というような積算をしてございます。すいません、令和2年度につきましても12件というような積算で予定してございます。

雇用奨励金につきましては、これは民間の実績としましてはですね、平成28年度には小田原エンジニアリングさんがございましたが、29年、30年につきましては実績はございませんでした。来年度につきましても1件50万ということで、積算をさせていただいているところでございます。

次に、民間賃貸住宅家賃補助でございます。実績としましては、平成30年7件ございました。これも新規の方が1件、あと昨年度、前年度からの継続の方が6件というようなことでございます。来年度につきましても、8件を予定して積算してございます。

また、新規事業でございます結婚新生活支援補助でございますが、こちらにつきましては1件15万で6件を積算として来年度予算として計上させていただいているところでございます。以上でございます。

まちづくり課長     それでは、新松田駅南北自由通路設計委託料につきまして御説明させていただきます。この委託はですね、かねてですね、基本構想・基本計画で策定いたしました新松田駅の整備の中で、小田急電鉄の橋上駅舎と自由通路を策定するために小田急電鉄に委託をするものであります。今年度、来年度で委託する目的といたしましては、早期に駅の場所、今、現況、橋上になっていまして、通路があつて階段でおりに駅に、ホームにおりにいますけども、あれを残して、全くあの場所にできるのかとか、仮設をどうやってやっていったら、仮の階段をどこに配置するとか、エレベーターどこにして、じゃあ本駅、本当に自由通路をどこにつくって、橋上駅舎をどこにのせるとかといったものを来年度予算化して、位置を小田急電鉄さんに確定していただくと。何案かつくっていただいて、コスト的なもの、また施工期間とか、そういったものを勘案してですね、駅前広場との取り合いも、位置の関係によってですね、広場の位置も大きく変わることはないように、いろんな条件を当てはめながら委託をしていくということになります。以上です。

6 番 井 上     ありがとうございます。まず、1点目のですね、定住少子化対策支援事業のですね、実績と今年度の見込み、新規事業についても今年度のですね、見込み等をお伺いをいたしました。こういった中でですね、大分、何とか松田町としては定住少子化を対策を進めたいというところでございます。こういった形の

中ですね、費用的にかけておりますが、これらから、おわかりになれば結構ですけども、これらから見込まれるですね、目的としては、やはり町税等の増収ということで、新しくですね、こういった形で住宅を取得して、そこに定住をされる、2世帯住宅で東京近郊に行っていた方がですね、松田に戻ってきて、2世帯で住まれる。ふるさと松田同窓会というのは、目的はたしかそれに出席された方たちの御子息の松田に定住されるのを目的とするというふうに前に、以前にお聞きしたような気がします。そういった中で、こういった対策をされることによってですね、どの程度、松田のですね、税収増に寄与する部分があるのか。それをどの程度期待をしているのかということがわかればというふうに思います。

2点目のですね、新松田駅の周辺整備事業のほうにつきましては、駅の南北自由通路設計委託料140万については、今、課長の説明でですね、やはりそこで小田急線の新松田駅の駅舎等の配置をですね、どういうふうにするかという前提がないと、なかなか駅周辺の整備事業には積めないというふうなことのための必要な設計委託だということでは理解をしたつもりでございます。

それにつきましてですね、再質問としましては、これをですね、設計委託が完了した暁にはですね、こういった形で地元住民等へのですね、交渉に入る材料にされるのか。どういうふうな…対松田町と小田急だけのですね、問題なのか、地元との関係はどういうふうにするのか。これ自体も、小田急に委託することですと、大分期間がかかるのではないかなと思うんですけども、その辺をですね、例えば令和2年度中にですね、そういったものが完成品が、委託の完成品が上がるのか。でき上がればですね、その準備作業の中でどういうふうですね、住民に対しては対応されていくのか。それがわかればお知らせ願いたいと思います。

定住少子化担当課長

すいません。まず、こういった定住によって見込まれる町税収入というお話がございました。例えば住宅取得奨励金につきましては、先ほど30年度実績として28件というお話をさせていただきました。町内異動として9件、町外からは19件というような内訳でございます。町内・町外も含めてですね、新たに住宅を取得、建てて、中古物件もそうですけども、ありますが、建てられて住まれ

るというようなところの中では、固定資産税収入等々も見込まれてくるというふうに思っております。また同様に、2世帯同居におきましても16件というお話をさせていただきました。町外からは6件の方が2世帯という形で入られるということで、すいません、ちょっと税収的にどのくらいかというところの試算としては、私どもでは出してはございませんが、そういった方等々、またふるさと松田同窓会におきましては、町のPR等も含めた中で、ふるさと納税の御寄附をいただけるようなこともあわせて行ってございますので、そういったところの収入も、また松田、故郷の松田を振り返っていただいて、ぜひそういったものを返礼品として御購入いただくといえますか、納税していただくというような仕組みの中では、そういったところの部分もあわせ持った中では、やっているとこのようにございまして、以上でございます。

税 務 課 長 すいません。今、井上議員の御質問なんですが、一般的な町民税の税額について、ちょっと御説明させていただきます。町民税は御存じのように均等割と所得割というのがございまして、均等割につきましては1人当たり3,500円でございます。所得割につきましては、人口の減少によって生産年齢人口は大体15歳から64歳の人口で左右するので、一般的…令和2年度の予算で申しますと、所得割1人当たりがですね、11万2,000円で見えております。以上でございます。

まちづくり課長 先ほどのどういった効果であったり、地域の方にどういったものが見せられるのかという話でございます。まず、今回できるものにはですね、幾つかのですね、案をまず小田急電鉄さんに出していただきます。その中から町と小田急さんで、金額的なこと、時期的な問題とか、そういったものを協議させていただきます。それからいろいろな一般的な仕様であるとか、そういったものも決めていきたいと思っております。最終的には、詳細設計といまして、全部、鉄骨が何トンあるとか、そういった数量までは今回の設計では上がってきません。それはそういうレイアウトはこれから確認申請が必要だとか、駅舎の造作はこういうふうにくくりつけをすとかという委託は、また小田急さんとの費用案分もありますので、それはまたそれが決まった後になってきます。

今回でき上がるもので、どういったことが決まってくるのかといえますと、まずですね、広場の配置が確定してくると。今、一様に案の中でイメージとして

つくっていますけれども、それが配置がきちっとまず決まってくるだろうと。その橋上駅、自由通路の場所が確定できれば、まずきちっと決まってくると。それから、集約施設ですね。ビル、集約施設等の配置もきちっと決まってくると。この場所につくっていけるんじゃないかと。それから、JRとの連絡、連携ですね。も、きちっとJRさんに協議する資料もできてくると。最終的に、そういったものを町民の方に、権利者の方に、地権者の方に見ていただくことによって、全体の私どもが予定しています再開発、駅前周辺の事業の熟度が格段に上がってくると思います。小田急さんのそういったものが確定することによって。そういった中で、さらに準備組合の設立に向けて、あ、そういうところまで進んでいるんだねということが準備組合の設立に向けて後押しになってくる。それからデベロッパーさんに対して、小田急さんからこういう資料をもらって、こういう駅舎づくり、こういう自由通路のづくりを考えていますということをデベロッパーになるべき企業の方々に御提示することによって、参加意欲、再開発に参加意欲が上がってくる。そういったことになると思います。以上です。

6 番 井 上 定住少子化のほうはですね、佐藤室長、税務課長のほうの答弁でわかりました。そういった部分でですね、少しでも税収、また松田町の定住人口をふやしていくという方向の中でですね、実施に当たられてはですね、いろいろな工夫をしてですね、これなりの金額があって、ぜひ活用をして実施に向けてですね、進んでいかれたと思います。

雇用奨励金のほうは、前年、前々年の実績がないというふうなことで、先ほどお聞きしましたけれども、これに合わせてもですね、ぜひ、町内企業という、なかなか数が少ないんでしょうけれども、先ほど言われました小田原エンジニアリング等にですね、ぜひ働きかけをするなり、また町長のほうからもですね、そういった形の中で雇用するということにいけばですね、かなり松田町の人口増とかですね、松田町の所得もふえていく、住民の所得もふえていくのではないかなというふうに考えますので、ぜひPRをしていただきたいと思います。

2点目のですね、新松田駅周辺のほうは、内容的にはわかりました。ただ、これの設計委託のほうで、でき上がった材料としては、これで実際に具体的な広場の配置、ビルの配置、JRとの協議資料ができ上がるということですのでけれど

も、やはり一番の心配、私としての心配をすることは、やはり地元の方へのですね、理解ですね。こういったことが先行をしてですね、地元住民を抜きにして進んでいるのではないかなというふうに思われるということが一番危惧されるどころだと思います。こういった段階になるかはわかりませんが、ぜひ地元住民が理解をされてですね、こういった設計委託の執行をされるなり、またその設計委託が完了した後に、こういった部分でいろいろな分野で広場の形とか、また絵図面、パース、そういったものが出る段階においてはですね、やはり地元住民へのですね、配慮をお願いをしてですね、進まれるということをお願いをしたいと思います。

最後に、町長のほうですね、一般質問でも触れましたけれども、やはり地元住民の理解とですね、新松田駅周辺整備事業、この中で一番やはり具体的な方向としては、新松田駅南北自由通路の設計委託というのが第一歩になるかなというふうに思いますので、そこでですね、地元住民の理解と第一歩をスタートするに当たってのですね、町長のお考えをお聞きをしたいと思います。

町長 おっしゃるとおりだというふうに思っています。予定ではそういった話を今回説明をする予定だったのが、このコロナウイルスの関係でまた延びちゃったということもありますので、そういった機会を通じてお話しすることもしなきゃいけないですし、その地域の近隣の方々だけでなく、町民の方々全体も今の進捗というのは非常に気になされているというふうにも私もそういうふうに思っておりますので、いろんな機会を使ってですね、町が本当に何やってるとよく言われるようなことがないように、少しでも埋めていくように進めてまいりますので、ぜひ議員の皆様もですね、御協力いただければありがたいかと思っております。以上です。

議 長 ほかにございませんか。

12番 大 舘 1点だけお聞かせ願いたいと思います。来年度予算がですね、50億7,000万という大型な、積極的な予算を編成されたわけですがけれども、今、日本を取り巻く経済状況というのがですね、2019年は消費税の増税、それから災害ですね、自然災害、台風のね。その影響が響いてですね、GDPが年率で6.3%減ったという、民間のエコノミストの発表がありました。それでですね、さらにことし

に入ってますね、新型コロナウイルスの影響でですね、20年度はマイナス1%の台の成長率になるだろうというふうな見込みをされているわけですね。

それですね、積極的な予算で町を活性化される思いはわかりますけれども、もうそろそろ備えないと、社会の状況とか経済状況を捉えて備えないといけないうと思うんですよ。予算計上されて認められたんだから、それ、全部こなせばいいという話じゃなくてですね、これからの状況、今、先ほども昼食行ったときにも、松田でさえも飲食業もキャンセルされて、全然暇だよというふうな話も聞きますし、これからどのくらいの経済の不況がやってくるか見込めない中でね、慎重に取り組んでいってもらわないと困るんですけれども、その辺のことをどのように捉えて執行に当たられるか、その辺をお伺いします。

政策推進課長     ありがとうございます。今言われたとおりですね、GDPの関係はもちろん、消費税の関係含め、そんな推移を示しているということは理解しております。また、今のコロナウイルスの関係につきましてもですね、国のほうはさまざまな医療の体制やら学校の体制、いろいろな支援を今してきている状況にあります。そうした中で、町の今回の50億7,000万という予算を執行するに当たりましては、やっぱり町としてはある程度、必要な総合計画でもやっぱり定めたように、アンケートで一番多かったように、駅、そして小学校整備は推進すると。その中で、限られた中でですね、町民サービスを落とさない状況の中で執行していくという考えで今、進んでございます。

この前もですね、ちょっと示した財政推計がでございます。ここは職員一人ひとりが認識をし、この財政を普通にやっていけばこうなるというものを理解をしていただいて、今後の執行に対してやっていかなきゃならないというふうに私は思っております。

本当にここでやっぱり抑えていかない部分が出たとしたならば、そこは町のほうの方針として、とめることもあるかと思えます。そうしたことを踏まえてですね、また私一人が、私だけがそういう認識ではだめなので、町職員がそういう認識のもとに今回の予算に対して執行していきたいというふうに考えています。以上です。

12番 大 館     今、鈴木課長が言われるように、課長一人だけで認識してもどうにもならな

いことで、やっぱり状況、これからの交付税とかも捉えてですね、国全体が不況に陥れば、今まで見込んだ交付税とか補助金とかはどんどんカットされちゃうと思うんですよ。ですから、それに備えて今からもう取り組んでいかないと、もう全然なくなってから、当てにしていたのが一銭ももらえないという状態に陥るとですね、町民サービスの低下どころか生活に困るわけですよ。ですから、その辺を慎重に取り組んで執行していただかなければならないと思いますけれども、町長、一言お願いします。

町長 もうまさにおっしゃるとおりだと私も思います。思いますというか、そういう状況にもなりそうな予測もあります。ただですね、非常に大切なのは、我々公共から発信するネタといいましょうか、仕事といいましょうかね、そういうことが非常に影響してくる。ひとときにはコンクリートから人へというようなことで、経済が一気に下がったときもありましたよね。そういうことがあるので、我々行政としては、先ほど課長が話したように、無駄なものは本当に、予算も組みましたけれども、削りながらやっていく。そこでなるべく町外じゃなく町内の事業者さんたちに仕事を発注しながら、中で経済を回していくということが最終的には自立していくような地域づくりになろうかというふうにも考えておるところでもございますので、そのあたりは発注する際には、時の状況と、あとはやっぱり更新工事だとか、その先に生活をされる方々に御迷惑がかからない、町民サービスの低下を招かない、そういうふうな格好を常にですね、意識をしながら対応してまいりますので、その節にはよろしくお願いします。以上です。

議 長 よろしいですか。ほかにはございますか。

5 番 田 代 1点だけお聞かせください。2年前に観光協会、一社化ということで、これは町長の観光面の旗印だと思うんですけども、稼げる観光協会というものにしていくんだということで、例えばふるさと納税、この関係の事務を観光協会におろしたりとか、あと当時、桜まつりで協力金ですか、いただくようなことで今、試験しているんですけども、そういったもので、ある程度観光協会に力を持って、これから動いていきたいというふうなことでスタートして、ことしで一社化になって5月に2年目、2年終わって3年目になると思います。その

ような中で、町長がこれから、今まで少しスタートは、気持ちは理解させていただいたんですけど、その後、少し今のふるさと納税でも実際に観光協会に落ちているような感じもしますし、ちょっと停滞しているのかなというふうに感じます。そのような中で、町長がこれから観光協会、稼げる観光協会、または活性化、特産品も含めて、いろんな面で展開していきたいというお気持ちだと思わすけれども、具体的に、もう少し町長の御説明を聞きたいということで、お願いしたいと思わす。

町 長 妄想みたいな話にならなきゃ…ならないようにはちょっとお伝えしますが、まさに先ほど言われたようにですね、観光協会を一社化したときは私が観光協会を兼任していたという時期もあつて、ある程度、言葉で言うところリーダーシップを發揮できたという時期でもありました。そのときには、今も同じことなんですけれども、とにかく民間の方々の活力を生かして、稼げる、自立する観光協会を目指していきたいという思いでおりました。そのことによって結果的に観光立町につながるんだらうというふうにはずっと思っています。今でもその気持ちは変わりません。

今後、町としての考え方としては、観光協会が今いる立場として一社化した民間の会社という位置づけを、もっと生かしてもらいたいというふうなためには、いま一度ですね、我々自身も行政としての立場として、民間の事業者を、ほんと3年目ということになりますけれども、育成するための支援をしっかりとやらなきゃいけないというふうにも考えております。可能ならばですけどもね、これから我々としては松田山の指定管理業者さんをこれから探したりだとかすることになりますけれども、やはり外の会社さんを連れてきて、外へお金が出て行くということになると、非常にもったいないということも考えていますので、せつかく一社化された観光協会さんに、指定管理ということで受けていただけるような働きかけだとか、あとはマネジメントについて、我々が持っている程度の知恵しかないですけども、その辺をとにかくドッグランとかと同じで、とにかく伴走型で一緒にとにかく町の何ですか、宝といいましょうかね、財源を生む場所ですので、生かせるように、よくよく相談をしながら、そこには商工振興会の皆様方とか、あと大名行列保存会の方々とか商店街の方々とか、本当に一体となってやる

べきではないかというふうに思っていますので、とにかく自立をしていただけるようなことで、育成して…我々としては育成を…育成という表現もおかしいですけど、支援を、そういった面ではしていきたいかなというふうには思っています。以上です。

5 番 田 代 丁寧な御回答ありがとうございます。確かに2年前までは町長が会長であったと。2年前の5月からは一社化で一般人だということで、確かに執行権はないわけですがけれども、今、町長がお話あったようにね、民間会社と町との連携によってね、進めていただきたいなと。まだ、もう2年というのと、まだ2年という言葉使わさせてもらいますと、簡単にはね、こういった事業っていかないと思うんで、これから一つ一つチェックしながら、いい面で活性化になるように動いていただきたいと思います。以上で終わります。

議 長 ほかにございますか。

(「なし」の声あり)

この辺で質疑を打ち切りたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

お諮りします。ただいま議題となっています本案につきましては、一般会計予算審査特別委員会を設置し、そこに付託の上、審査することとしたいと思います。御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。よって、本案は一般会計予算審査特別委員会を設置し、そこに付託の上、審査することに決定しました。

ここで暫時休憩しますので、休憩中に委員の選出、正・副委員長の選任をお願いいたします。決定しましたら議長まで報告願います。

暫時休憩します。再開は1時55分から再開といたします。(13時45分)

議 長 休憩を解いて再開いたします。(13時55分)

休憩中に一般会計予算審査特別委員会の委員が決定しました。委員は議長を除く議員11名です。委員長には中野博君、副委員長には古谷星工人君が決定しました。審査をよろしく願います。なお、議長もオブザーバーとして参加させていただきますので、よろしく願います。

議

長 以上で本日予定しました日程の全てが終了しましたので、本日の会議はこれをもって延会といたします。

お知らせします。この後、産業厚生常任委員会を予定しております。委員長の指示に従ってください。

9日（月曜日）午前9時より総務文教常任委員会を大会議室にて開催します。また、委員会活動日としています。午後1時30分から令和2年度工事予定箇所の現地視察を行いますので、4階ロビーに御集合ください。

10日（火曜日）は午前9時より一般会計予算審査特別委員会を大会議室にて開催します。11日（水曜日）は午後より町民文化センターE S C O事業調査特別委員会を大会議室で開催します。12日（木曜日）は午前9時より総務文教常任委員会を大会議室にて開催します。また、委員会活動日としています。13日（金曜日）は、午前9時より本会議を開きますので、定刻までに御参集くださるようお願いいたします。

本日は御苦勞さまでした。

（13時58分）